

道の駅 大規模になれば毎年の維持管理費も多額に !!

これからも新庄で暮らす 若者・子ども・孫たちのため 将来に大きな財政負担を残さない
市民の皆様と共にようやくできた財政再建 大規模道の駅は絶対反対!!
財政再建団体はもうコリゴリ!!

二度とあってはならない借金財政 → 次は絶対再建できない
大規模道の駅 完成まで何年? → 10年以上
大規模道の駅 建設費何億? → 約100億
大規模道の駅 維持管理費? → 多額 冬の除雪費 水道光熱費 人件費
※維持管理費に補助金はでません

私は、その財源こそ除雪費強化、高齢者・障がい者支援、子供の遊び場作り、教育の充実、老朽化した施設建替え修繕、銭湯再開、ゴミステーション貸与、グラウンドゴルフ場作り、農業支援、企業誘致など市民の皆様の生活向上に使いたい。



やまお
山尾じゅんき

略歴
新庄北高等学校卒、大正大学仏教学部卒
新庄市職員 新庄市議会議員
現 新庄市長 最上広域市町村圏事務組合理事長
保護司 教諭師

対話と決断！未来への責任

安心して暮らせる新庄をみんなで！

市政への挑戦とこれまでの御礼

「これからの新庄市を市民の皆さまとともにつくっていく」この想いで、この度、新庄市長への立候補を決意致しました。
改めまして、12年間の県議としての活動の中で、皆さまより多くのご指導とご意見を賜りましたことを御礼申し上げます。
皆様のご支援の下、新庄病院の機能強化・全面改築や雪に強いまちづくり、高速道・一般道整備、農林業振興、地域と連携する企業誘致などを推進することが出来ました。
さらに、長年の地域の悲願であった4年制大学(専門職大学)設置も実現に近づいて参りました。これまでに進めてきた取り組みは、今後も市政という新たなステージで推進して参ります。



〈産業・雇用・交通〉

次世代につながる産業・雇用・道の駅！

若者や女性の働きたい場づくりを進めます。製造業の国内回帰の流れをとらえ高規格道路を活用した域外企業・産業誘致を推進します。また、東北農林専門職大学と製造業などの産学連携による研究・開発の推進や、大学を起点とした先進的な起業・創業支援、商店街の空きテナント等の起業家拠点の活用を推進します。
また、新たなにぎわいの拠点として、IC付近の「道の駅」整備を官民一体で進めるべく議論を進めていきます。



これからの新庄をつくる5つの主要政策



〈市役所のありかた〉

全ての市民の方々とともに、対話型のまちづくりを！

市民の方々は多様な課題を抱えられています。ひとりひとりの市民の方々に寄り添いながら、対話型のまちづくりを進めていきます。また、市役所の財政や人員も限られる中、民間のノウハウや資源も上手く活かしながら、誰ひとり取り残さない行政サービスの提供を目指します。



〈農林業〉

大学を活かした、持続可能な農業を！

2024年の東北農林専門職大学開学にあわせ、同大学を中心とした農業人材の育成、当地での栽培に適した作物(米粉、小麦等)の新品種開発、スマート農業(稲作・園芸・畜産)を推進します。
また、生産性の向上に向けて農地の大規模化を進めます。更に、6次産業化や新たな販路の確保により、次世代につながる農業を実現します。
さらに足下での資材物価高への対策強化を進めます。



〈子育て・教育〉

子育て支援充実と地域力を活かす教育の充実！

深刻化する少子高齢化に対し、子育て世代に選ばれ、子どもたちが伸び伸びと育つまちを目指します。妊娠・出産・育児への包括的な支援強化、給食費無償化の推進・検討、子育て施設・子どもたちが安心して遊べる拠点の整備(最上地域連携も視野に)を進めます。
また、保小中高、特支・家庭・地域・企業、総がかりで子どもを育む体制をつくります。さらに東北農林専門職大学などの地域資源(キャリア教育、体験型学習など)と先進技術(ICTなど)を活かした教育により、地域愛を育みながら個性を伸ばす学習環境を提供します。



〈医療・介護・福祉〉

新たな医療連携により、みんなが健康長寿のまに！

10月開業の新県立新庄病院(基幹病院)には、地域医療機関や介護福祉との連携に向け総合患者サポートセンターが設置されます。同センターは、地元の医療機関が連携する全国でも先進的な取組みです。同センターへの窓口機能や情報の集約により、患者、高齢者、障がいを持たれた方々への安心安全な包括ケア(フレイル対策・介護・在宅医療など)を進めます。
更に、高齢者や障がいを持たれている方々など誰もが住みやすいまちづくりに向け、バス路線の見直し、タクシー券やデマンド型乗り合いタクシーの導入、間口除雪の支援強化をはじめとする生活支援を推進します。

山科朝則の経歴

新庄市金沢町に生まれる
日本大学農獣医学部食品経済学科卒業
平成23年 山形県議会議員選挙当選
平成27年 山形県議会議員選挙当選(2期)
平成31年 山形県議会議員選挙当選(3期)

山科朝則
ともものり

女性を市長に！このまちは変わる！明るくなる！

市民の声が届くやさしいまちに民間のアイデアと知恵で活気を！
しがらみのない公平公正な市政へ！ **こどもたちに、誇れる新庄を！**



①すべてのこどもが守られるまちへ！

- ▷小中学校の給食費100%無料化の実現へ！
- ▷屋内遊び場の新設へ！市民が一日中楽しめる施設を
- ▷通学・スポ少の送迎に市営循環バスなどの活用を検討
- ▷まちなかに中高生・若者の居場所を！空き店舗を活用
- ▷今春施行「こども基本法」をもとに、こども家庭庁の支援策を有効活用し、子育て世帯への支援を大幅に拡充

②日本初の高速SA型・道の駅実現へ！ 未来に財産を

- ▷タテ軸・ヨコ軸に高速が交わる好立地。人・物が行き交う「商業都市 新庄」へ
- ▷東北各地の名産品が集まる「とうほく市場」を開き、市民も楽しめる道の駅に
- ▷道の駅収益やIC付近の企業誘致で税収アップ！市民サービスの向上へ
- ▷道の駅と連動させたイベントで、市街地に人が集まるしなげを
- ▷国との太いパイプを生かし、市の財政負担を劇的に圧縮！県・最上7町村・民間とも団結を

③安心して年を重ねられるまちへ

- ▷「玄関先の除雪」負担軽減！除雪業者や住宅メーカーと連携、雪に強い地域づくりへ
- ▷一人/二人暮らしの高齢世帯、介護・病氣療養世帯のための生活サポートを
- ▷「セカンドライフ支援センター」開設。引退後の就労、生涯学習をサポート
- ▷医療・福祉の現場スタッフの声を生かし、皆で支え合うまちづくりを推進

④所得の向上、豊かな地域経済へ！

- ▷資材高騰などによる経営圧迫に、国や県の各種補助金をフル活用
- ▷民間たたき上げのトップセールス・まちこが、地元農業・商工業をPR！販売力強化へ
- ▷「人材」の育成・採用に取り組む企業・団体を支援

⑤市民目線、民間感覚のまちづくりを！

- ▷税金は1円もムダにしない！予算を徹底的に見直し
- ▷公共施設の駐車場問題の解決へ
- ▷「聞かせてける窓口」を設置、なんでも相談しやすい市役所へ
- ▷市民の「知りたい」に応える市政。「風通しのよい新庄」を

プロフィール

1962年、真室川町の農家に生まれ育つ。夫、息子夫婦、孫2人、愛犬。
製薬会社、新庄市勤務の後、新庄地区物産協会（現・もがみ物産協会）に入社、子育てをしながら新庄市の物産販売に尽力。
同社常務取締役、専務取締役を経て、2021年に代表取締役役に就任。会社経営に奔走する傍ら、山形県の行政委員会や経済団体等、まちづくり活動にも携わる。2023年5月、もがみ物産協会退職。好きな食べ物は、メンマ。

委員・役員(歴任)

公益社団法人 山形県物産協会理事／山形県観光審議会委員／山形県内水面漁場管理委員会委員／新庄商工会議所常議員／新庄商工会議所女性会会長／新庄もがみランドマーク検討委員会副委員長 他多数

つやう
ま
ち
こ
が

9月10日(日)投票日

※忘れずに投票しましょう

投票時間 午前7時から午後7時まで

きけんしないで投票しましょう

◎入場券をお持ちください

投票所にお出かけの際には、入場券をお持ちください。もし、入場券を忘れたり、入場券を紛失したときは、投票所の受付係に申し出ただけであれば投票することができます。

◎期日前投票の制度があります

投票日に用事があり投票所に行けない方は、期日前投票の制度をご利用ください。期日前投票は、9月9日（投票日の前日）まで市役所東庁舎で午前8時30分から午後8時まで行っています。



この選挙公報は、候補者から提出された掲載文を原文のまま印刷したものです。